

漆展

—新しい漆のかたち—

伊丹市立工芸センター

二〇一一年九月三日(土)～十月二日(日) 月曜休館(祝日の場合翌日)

十時～十八時(入館十七時三十分まで) 入場無料

協力

金沢美術工芸大学
京都市立芸術大学



「はじまりのかたち」
田中 信行 (金沢美術工芸大学 工芸科 教授)



「祈る形 IV」
栗本 夏樹 (京都市立芸術大学 准教授)

漆造形家として、また指導者として活躍されている田中信行氏(金沢美術工芸大学)、栗本夏樹氏(京都市立芸術大学)と、両氏によって推薦された若手作家 総勢27名による、新しい漆の可能性を展望する企画展です。

【レクチャー】

9月24日(土) 「新しい漆のかたち」 講師:田中 信行・栗本 夏樹
14:00～15:30 参加無料(申込不要)

【漆絵体験】(要申込・先着順)

9月10日(土) 「自分だけのお皿を作ろう!」 講師:山岸 佳奈江・内山 貴義
①14:00～15:00 ②16:00～17:00 定員各12名 参加費1,600円

漆のお皿に、カシューと葉っぱを使って制作します。

(かぶれ防止の為、本漆でなくカシュー塗料を使用します)

※お申込みは工芸センター(TEL:072-772-5557)まで。

主催 伊丹市立工芸センター[公益財団法人 伊丹市文化振興財団・伊丹市]

協力 金沢美術工芸大学・京都市立芸術大学

後援 近畿経済産業局・石川県・京都府・兵庫県・金沢市・京都市・
(社)総合デザイナー協会(DAS)・神戸新聞社

